参考資料３

2025 年度事業実績及び 2026 年度事業計画

〔保健予防課〕

1　2025 年度事業実績

（１） 健康づくり意識の向上（基本目標１-目標２-施策１）

① 健康づくり推進委員を中心とした健康づくり活動の普及

健康づくり推進委員の自主的な健康活動を支援するために健康づくり機材貸出、健康づくりに関連する情報提供を実施しました。

健康づくり推進委員数	156 人
年間機材貸出件数(物品数×日数)	987 件
情報提供	健康づくり推進委員ハンドブック

（２） がん、糖尿病などの非感染性疾患対策（基本目標１-目標２-施策４）

① 生活習慣病予防を目的とした成人健康教育

18 歳以上の市民を対象に腎臓病予防や糖尿病予防等の講習会を実施し、生活習慣病予防等に関する知識の普及啓発を行いました。

講習会目的	実施内容	定　員（人）	回　数（回）	参加者数（人）
糖尿病予防	糖尿病専門医講話	30	1	25
	健康運動指導士講話・実技	40	1	20
腎臓病予防	管理栄養士講話・試食	16	2	32
脂質異常症予防	保健師・管理栄養士講話	32	1	27
骨粗しょう症予防	町田慶泉病院 OLS（骨粗しょう症リエゾンサービス）チーム（医師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士）の講話と運動実技	70	1	64

（３） 感染症対策（基本目標１-目標２-施策５）

① 感染症予防に関する普及啓発

結核や、ＨＩＶ・性感染症等について、予防や早期発見・対応ができるよう、市民や関係機関に様々な方法で情報を発信しました。

普及啓発回数	26 回
普及啓発方法	町田市ホームページや LINE による情報発信、ポスター掲示、チラシ配布、普及啓発物品配布（チラシ入りのティッシュ等）、市庁舎ライトアップ、関係機関の会議出席等。

② ＭＲ１期の予防接種率

対象者に対する個別勧奨や、わくわくワクチンプラス（予防接種スケジュール管理アプリ）の周知を実施しましたが、2025 年度の接種率は98.3%で 0.7 ポイント目標を下回りました。引き続き、対象者に対する個別勧奨に加え、わくわくワクチンプラスの機能拡張や情報発信の強化、周知の拡大に努め、目標値の達成を目指します。

対象者数	2,359 名
接種者数	2,319 名
接種率（実績）	98.3%
接種率（目標）	99%以上

（４） 望ましい栄養・食生活の推進（基本目標１-目標３-施策１）

① ライフステージに応じた望ましい食生活の推進

市民一人ひとりが、ライフステージに応じた食の知識と選択する力を習得し、望ましい食生活を実践できるように、各ライフステージへの取り組みを行いました。また、市民の多様なライフスタイルに応じた食育を推進するために、組織や分野の垣根を超えた分野横断的な取組を行いました。

取組名	対象	取組内容
まちだ食育すごろく	幼児、小学生と保護者	・食について遊びながら楽しく学べるように 2 種類のすごろくを作成。
若い世代への健康教育	専門学生	・大原簿記医療秘書公務員専門学校の行政研究の授業内で町田市の食育事業、課題について講話。

（５） 食を通じて地域とつながるための支援（基本目標１-目標３-施策２）

① 町田市食育ボランティアによる共食及び地産地消の推進

町田市食育ボランティアが地域で活動し、家族や友人等と一緒に食卓を囲む機会や町田の食に触れる機会を作り、共食や地産地消の啓発を行いました。

取組名	取組内容	実施場所	参加者
施設での食育活動	調理実習「うどん」	子どもセンターつるっこ	12 名
くらしフェア	「まちだすいとん」の調理・提供	町田市民フォーラム	150 名
食体験事業	調理実習「町田の食をまるっと楽しむ！～まち☆ベジ収穫体験＆ＦＣ町田ゼルビア応援給食クッキング～」	JA 町田市忠生支店（会議室・調理室）、JA 町田市忠生所有の畑	10 組 24 名（大人 10 名、子ども 14 名）

（６） 食に関する環境の整備（基本目標１-目標３-施策３）

① 大学と連携した取組

若い世代への普及啓発を効果的に取り組んでいくために 2025 年 8 月 1 日に食育推進に関する連携協定を締結しました。

協定後の取組内容	実績
東京家政学院大学の学生食堂「まちだすいとん」の提供	2 日間　計 60 食 ・2025 年 7 月 22 日（火）30 食 ・2025 年 9 月 22 日（月）30 食
東京家政学院大学の学園祭料理サークル学生による「まちだすいとん」の提供	2 日間　計 350 食 ・2025 年 11 月 8 日（土）200 食 ・2025 年 11 月 9 日（日）150 食
東京家政学院大学による大学近隣小学生を対象とした料理教室及び食育活動	小学 3 年生～6 年生 各回 11 名 ・2025 年 9 月 6 日(土) まちだすいとん実習 ・2025 年 10 月 18 日(土) 食育すごろく活用

② 民間企業等と連携した取組

市民への普及啓発を効果的に取り組んでいくために 2026 年 1 月 26 日に健康的な食生活の推進に関する連携協定を締結しました。

協定後の取組内容	野菜料理の新しい簡単な味付け、野菜に関する情報を掲載したレシピブック「野菜調理のシン定番」を作成・配布

（７） こころの健康づくりの推進（基本目標１-目標４-施策２）

① 協議会の開催

精神疾患のある患者が地域で安心して生活を送るために、地域包括ケアシステムの構築に向けた協議会を開催しました。

会議名	ア．地域精神保健福祉連絡協議会の開催
テーマ	精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて
開催日	2025 年 7 月 17 日（木）
出席者数	14 名

会議名	イ．地域精神保健福祉連絡協議会専門部会の開催
テーマ	精神疾患・精神障がいのある方が地域で安心した生活を送るために
開催日	2025 年 10 月 30 日（木）・2026 年 1 月 26 日（月）
出席者数	各 8 名

② 普及啓発

こころの相談窓口に関する周知、こころの相談に適切に対応するための研修会等を行いました。

区分	ア．こころの相談窓口に関する啓発物品の配布
配布部数	リーフレット 164 部、ミニカード 509 部、ポスター27 部
配布機関数	140 機関

区分	イ．みんなの健康だよりへの精神保健に関連した記事掲載
掲載時期	2025 年 7 月 1 日号
内容	こころの病気～統合失調症～

区分	ウ．デジタルサイネージの活用によるこころの相談窓口の周知
掲載時期	2025 年 10 月
方法・時期	マルイモディのデジタルセイネージ、ペデストリアンデッキマルイ店舗側の電光掲示板

区分	エ．心のサポーター（ここサポ）養成研修の開催
開催日	2025 年 8 月 6 日
参加者数	市民 48 名

区分	オ．精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築のための講演会の開催（大塚製薬との共催）
テーマ	にも包括構築のためにできること～支援者に求められる視点～
開催日	2025 年 11 月 20 日（木）
参加者数	会場 15 名、オンライン 54 名（計 69 名）
参加機関数	43 機関

（８） 新興感染症対策（基本目標２-目標２-施策１）

① 感染症対策地域連携会議への参加

病院が主催する会議に参加することにより、関係機関と顔の見える関係を構築し、連携調整を強化しました。

会議参加回数	8 回

（９）大規模災害時における医療提供体制（基本目標２-目標２-施策２）

① 在宅人工呼吸器使用者の難病患者等の把握と災害時個別避難計画の作成への支援

在宅人工呼吸器使用の難病患者等に対しては、災害発生に備え、関係機関と連携をとりながら災害時個別支援計画作成を支援しました。

作成件数	24 件

＜事業総括（2026 年度に向けての課題や目標など）＞

【からだの健康を支えるまち】（基本目標１-目標２-施策１.５）
・健康づくりの活動を通じて市民のつながりを創出します。

・感染症について、予防や早期発見・対応ができるよう、市民や関係機関に様々な方法で情報を発信しました。若い世代に向けた効果的な普及啓発の取り組みを検討します。

・予防接種事業について、定期接種の対象者に対する個別勧奨の実施や、わくわくワクチンプラス（予防接種スケジュール管理アプリ）の周知により、予防接種の情報発信強化に向けた取り組みを行います。

【食で健康を支えるまち】（基本目標１-目標３-施策１.２.３）
・幼児、小学生、大学等の若い世代へのアプローチを強化するするため、引き続き、子どもセンターや JA 町田市、大学等の関係機関及び民間企業と連携して取り組みを行います。

【かけがえのないいのちを大切にするまち】（基本目標１-目標４-施策２）
・こころの健康づくりに関する普及啓発を実施しました。引き続き、精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて、取り組みを行います。

【新興感染症や大規模災害に対応できるまち】（基本目標２-目標２-施策１.２）
・在宅人工呼吸器使用の難病患者については、災害発生に備え、支援計画を作成しました。より実効性のあるものとするため、引き続き、災害訓練の実施に向けた取り組みを行います。

2　2026年度事業計画及び進捗状況

（１）健康づくり意識の向上（基本目標１-目標２-施策１）

健康づくり推進員は、市と協力しながら「自分の健康は自分で守る」という意識の向上及び市民の自発的な健康づくり活動の推進をしています。

○機材貸出し
…地域活動で活用してもらえるように、機材貸出を実施します。
○情報発信
…健康づくりに関連する情報を集約し、推進員へ発信します。

（２）感染症対策（基本目標１-目標２-施策５）

結核や、ＨＩＶ・性感染症等について、予防や早期発見・対応ができるよう、市民や関係機関に様々な方法で情報を発信します。

予防接種について、定期接種の対象者に対する個別勧奨の実施や、わくわくワクチンプラス（予防接種スケジュール管理アプリ）の周知をします。

○情報発信
…ホームページやLINEによる情報発信、関係機関との会議参加等を通じて、感染症に関する情報を提供します。
○デジタル技術の活用
…わくわくワクチンプラスの利用促進や、予診票のデジタル化の導入に向けた準備に取り組みます。

（３）食で健康を支えるまち（基本目標１-目標３-施策１・２・３）

市民の多様なライフスタイルに応じた食育を推進するために、組織や分野の垣根を超えた分野横断的な取組や民間企業等と連携した取組を行います。

○普及啓発及び関係機関や民間企業、大学等との連携
…園児や小学生が主体的に食育に取り組めるよう、2025年度に作成した「まちだ食育す　ごろく」を活用した取組を、関係機関や団体と連携しながら行います。
…SNSやデジタルサイネージ、イベント等を通じて広く市民へ食育に関する情報を発信します。
…市民一人ひとりが望ましい食生活を実践できるよう、民間企業や大学と連携した取組を行います。

（４）こころの健康づくりの推進（基本目標１-目標４-施策２）

精神疾患のある患者が地域で安心して生活を送るために、地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを行います。

○協議会の開催
…精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて、引き続き協議を行います。

○普及啓発及び情報発信
…こころの健康について身近に相談ができ、適切な対応ができるよう、引き続き相談窓口の周知、市民及び地域支援者向けの研修会や講演会など、普及啓発に取り組みます。

（５）新興感染症対策（基本目標２-目標２-施策１）

病院が主催する会議（感染症対策地域連携会議）に参加し、地域の医療機関や医師会と顔の見える関係を構築し、連携調整を強化します。また、最新の感染症情報を共有し、現場の感染対策能力向上を図ります。

（６）大規模災害時における医療提供体制（基本目標２-目標２-施策２）

在宅人工呼吸器使用の難病患者については、災害発生に備え、支援計画を作成・更新します。今後は、より実効性のあるものとするため、引き続き、災害訓練の実施に向けた取り組みを行います。